

野鳥だより・筑豊

2020年4月号(通巻506号)別冊



画・波多野邦彦 第23回 Tits <カラ類> <http://yacho.org/a/236>

日本野鳥の会筑豊支部 2020年度(令和2年度)定期総会／梶原剛二支部長.....	2
2020年度本会定期総会報告／広塚忠夫事務局長.....	2
日本野鳥の会筑豊支部2020年度(令和2年度)定期総会／式次第.....	3
事務局:2019年度活動報告と2020年度方針／広塚忠夫.....	3
編集部 2020年度総会資料／有働孝士.....	6
情報部 2020年度総会資料／有働孝士.....	8
2020年度 本会定期総会用資料(普及部)／森永光直.....	11
2020年:自然観察会v-2／植物部・三浦博嗣.....	14
研究部 2019年度研究部活動報告／柴田 光.....	15
調査研究部／虎尾俊二.....	15
2020年保護部総会資料／筒井哲史、木村直喜.....	16
野鳥展実行委員会 2019年の取り組みと2020年の活動計画案／野村芳宏.....	16
鷹研プラス／梶原剛二.....	18
会計部／河野藤孝.....	19
2019年度の販売部報告／松隈英子.....	21
日本野鳥の会筑豊支部規約.....	22
日本野鳥の会筑豊支部 役員体制.....	24

日本野鳥の会筑豊支部 2020年度(令和2年度)定期総会

梶原剛二支部長

定期総会にお越し頂きありがとうございます。

「野の鳥は野に」私たちは自然保護・野鳥保護団体です。そして、野鳥を愛する優しさあふれる仲間です。

本日は筑豊支部の発展に寄与する論議を楽しくやりましょう。よろしくお願いいたします。

2020年度本会定期総会報告

広塚忠夫事務局長

横殴りの風と雨の中で、馬敷川周辺と久保白ダム入口までの楽しいがやや厳しい探鳥会に参加された19名全員、無事に帰還され昼食後に15名の参加者で総会を行いました。

支部長あいさつを拝聴し、議長に森永光直普及部長が選任され総会が始まり、事務局・各専門部・野鳥展実行委員会・鷹研プラス・会計部・販売部・監査報告からの2019年の総括と2020年の方針案について、一部の質疑・回答を経て原案通り承認となりました。

部分修正された総会資料は、本会サイト・会報に掲載しますので、一読頂き本会の動向を把握して頂ければ幸いです。

また、出席された新役員の挨拶を受けて、新役員体制案について拍手で承認されました。新役員体制は、前三宅敏靖編集長から有働孝士情報部長兼編集長が引き継ぎ、研究部は調査研究部に名称変更して前柴田光部長から虎尾俊二調査研究部長へ、普及部は森永光直部長を先頭に副部長を含めて8名体制となり、意欲的でタイトな探鳥会スケジュールやバスツアー行事を協働して担って頂くことになりました。その他の各専門部は、運営委員会で確認されていた昨年体制継続で提案しました。

ところが、残念なことに販売部の報告時に、一言の事前予告もなく松隈英子部長から突然の辞任表明がなされました。本件の販売部後任人事については、事務局調整の上で次回の運営委員会に提案し承認することが確認されました。

その他の確認事項

1. ハンドアウト(旧テンプレート)の各支部行事に配布義務化を確認
2. 新年度の赤字予算案(-31,000円)の対策として、会報発行経費削減のメール版拡大の推奨が了解された。併せて、収入視点からは、会費収入が大半を占めていることから、会員拡大(2,500円/人)が最有効策であることを共有したい。

(参考) 2019年の筑豊支部の会員動静

①正会員：2019年入会者19名・退会者19名：純増なし

2018年は10名の純増

②くまたか会員(お試し会員)について、

くまたか会員累計数：60名（内、正会員へ移行 累計：15名）
2019年の入会者総数15名（内、正会員移行者6名）

日本野鳥の会筑豊支部 2020年度(令和2年度)定期総会

1. 日 時：2020年2月16日（日）13:00～14:30
2. 場 所：王塚装飾古墳館（コダイム王塚：桂川町）
王塚装飾古墳館レクチャー室

3. 式次第

- (1) 開会の辞（事務局）
- (2) 支部長あいさつ
- (3) 議長選出
- (4) 議案審議
 - ① 2019年度活動報告
事務局・編集部・情報部・普及部・植物部・研究部・保護部・
野鳥展実行委員会・鷹研プラス
 - ② 2019年度会計報告及び販売部報告
 - ③ 監査報告
..... 質疑応答
 - ④ 2020年度活動計画
 - ⑤ 2020年度活動予算
..... 質疑応答
 - ⑥ 規約改正
 - ⑦ 役員選出
- (5) 新役員あいさつ
- (6) 議長解任
- (7) 閉会の辞（事務局）

事務局：2019年度活動報告と2020年度方針：広塚忠夫

2019年度について、当会はボランティア自然保護団体として、多くの会員からの知恵出しとボランティア協働による会運営に努めました。知恵だし、いわゆる多様なアイデアの提案は可能な限り取り入れ、運営委員会で検討・了解の上で実現しました。

事務局主催のTV会議・運営委員会は毎月実施致しました。また、各専門部担当の各種行事、会報（野鳥だより筑豊）発行、本会サイト「くまたか」の毎日の更新、恒例の忘年会、夏の野鳥展など年間行事を、専門部々長を始め多くの会員の皆様の協働で実施することが出来ました。

事務局としては、各専門部と企画を含めた調整段階から関わってきたことから重複した報告が一部あるかと判断しますが、各専門部からの提案の総括と方針と併せて、議論頂ければ幸いです。

事務局の総括と方針及びその他、承認案件と必要な報告項目について何点か合わせて提案致しますので、ご審議願います。

1. 会員動静の検証と総括

(1) 2019年の筑豊支部の会員動静

①正会員：2019年入会者19名・退会者19名：純増なし

(内訳)

2018年12月3日現在：241名(家族会員含む)

2019年12月2日現在：241名(家族会員含む)

②くまたか会員(お試し会員)について、

くまたか会員累計数：60名(2015年からの累計)

・正会員移行者6名、2019年の入会者総数15名

2019年を振り返ると、本会行事実施は、役員だけでなく多くの会員の協力を得ながら意欲的な企画実施により、野鳥の会の紹介機会が増大した結果、新たに19名の入会者及びくまたか会員15名の計34名をお迎えしました。この総計34名の凄い成果を確認して、新年度も飛躍の年になること期待しています。

(2) 2019年の会員増の施策

会報「野鳥だより筑豊」・当会サイト「くまたか」・マスメディアに野鳥の会行事を掲載して市民参加を呼び掛けました。

会員の皆様へのお願いは、フィールドの観察の魅力を自分だけのものに終わらせず、その面白さを友人知人に伝え、海山川湖の行事コースをご一緒して現地を歩きながら自然観察を楽しみ、結果、野鳥・野草や生き物の識別レベルも自然にあがると認識しています。何と云ってもフィールドの観察の魅力を体験して頂ければ、入会の働きかけも効果的に行えます。自然の不思議さや観察の喜びを知って頂く活動こそ重要な活動です。ご一緒に愉しむように、多くの方をお誘いするように、お願い致します。

また、2015年度からの新たな施策の「くまたか会員」(お試し入会制度)による入会者は総計60名に達しています。1年間の本会活動の体験又はサイトや会報情報から本会の評価を頂き、1年経過する方に「くまたか会員」から「正会員」へ移行をお勧めして、本年は6名の方が正会員になりました。今後も機会があるごとにくまたか会員制度を活用していきます。

なお、くまたか会員の入会申込書チラシ(作成者：野村芳宏、木村直喜)活用方お願い致します。

2. 運営委員会・役員会

(1) 運営委員会の総括と方針

毎月、最後の日曜日前の木曜日に定例運営委員会を行いました。毎回、行事の振り返りを行い、具体的な意見要望が提案された項目を検証して対策や企画案を了解のうえ実施致しました。

更には、毎月の運営委員会前には、各専門部々長等から提案議題を事前に頂戴して、ボタンの掛け違いを無くすためにTV会議による意見交換で提案趣旨を正確に把握し、運営委員会の会議効率化に努めました。

当日は、10時30分頃から会報印刷(梶原剛二・森永光直・三宅敏靖)を始め、12時30分頃から丁合・発送作業を行い、続いて運営委員会を16時30分目処に行いました。運営委員会への参加協力については、支部行事など機会ある毎に、年1回でも本会事務所に気が向いたときだけでも気軽に足を運んで頂け

るようお願いしました。年間を通しては、新しい参加者を含めて8人から14人の参加者で行うことが出来ました。

(参考：参加人数/月)

12/1・8/2・12/3・12/4・13/5・11/6・13/7・12/8・14/9・11/10・14/11・12/12：
参加総計144人、月平均12人

しかしながら、近年は女性会員の運営委員会の参加が極端に少なくなりましたが、協力をお願いを続けて、結果、新しい参加を含めて数名の女性参加で運営委員会が実施できました。また、女性会員の参加を考慮して昼間の時間帯で行っていますので、気楽な参加を期待しています。

(2) 役員会について

昨年は、役員会開催課題がなく実施していません。従来から当会支部の運営や執行に関する意思決定は運営委員会で行ってきました。このやり方は誰でも自由に参加できるように配慮している事、ご理解願います。

3. 新役員体制について

役員の立候補は、サイト「くまたか」や会報誌上に掲載して、立候補を受け付けましたが、立候補はありませんでした。よって、事務局で調整した案を提起致します。

(1) 新体制は、前年の全役員は原則、継続をお願い致しました。はっきり言って還暦を過ぎた役員が殆どで、当会にとって50代役員は青年扱いで数人おられますが、現役で仕事など忙しくて会議参加が殆どありません。

役員の任務の報告と該当行事については遂行されていることに感謝致しますが、会の意思決定の運営委員会参加について、日程調整ができる時だけでも、または、短時間参加が可能な日だけでも参加できるよう調整をお願い致します。

この目的は、若い役員からの新しい提案やご意見などを期待しているためであることご理解願いたい。

以下、新役員の具体案です。

- ① 編集部の旧年度は、三宅敏靖編集部長の退任に伴い有働孝士情報部長に編集部仮担当兼務をお願いし、会報編集を継続して頂きました。
新年度は、正式に有働孝士情報部長兼編集部長を提案致します。
- ② 研究部は、調査に特化した調査研究部に名称を変更しスタートします。
新調査研究部長に虎尾俊二氏を提案致します。

(2) 派遣役員について(昨年と変更なし)

- ① 福岡県鳥獣保護員：筒井哲史、木村直喜
- ② 福岡県環境保全指導員：広塚忠夫、下田信廣
- ③ 遠賀川モニター：梶原剛二
- ④ いいづか環境会議：後藤ようこ
- ⑤ 緑の少年団探鳥会指導員：野村芳宏・柴田光・木村直喜・三浦博嗣
- ⑥ 福岡県自然公園指導員：後藤文嗣

4. 各専門部の成果と課題について

(1) 編集部

約10年の長きにわたり編集部担当を担って頂いた三宅敏靖編集部長に感謝申し上げます。当会会報は役員からの一方方向の記事だけでなく会員からの自主投稿の記事を大事にしている施策から、膨大な編集作業となっていますが、

新有働孝士編集部長による定期発行お願い致します。

(2) 情報部

2009年から、ほぼ、毎日のサイト更新の膨大な作業を、有働孝士情報部長が行っています。本格的ホームページであり全国連携団体から高い評価の声を頂いています。

(3) 普及部

新年度は 森永光直部長を中心に、意欲的な探鳥会企画の下見継続と安全第一に探鳥会を楽しまれるようお願い致します。

また、普及部は10人の大世帯になり、また、新たに林田達也氏・有本英一郎氏が着任され、新しい風を吹き込んで頂くよう期待しています。

(4) 植物部

三浦博嗣部長及び三浦美代子副部長の三浦夫妻コンビを中心に、新しいサブリーダー制導入やミニ自然観察会の施策に期待しています。

(5) 調査研究部 (旧研究部)

主にハチクマ・ガンカモ調査を役員・会員協力で実施されました。研究部は調査以外の取組項目も多々ありましたが、新年度からは調査に特化した調査研究部として、虎尾俊二部長の新体制で臨みます。

(6) 保護部

部長・副部長は鳥獣保護員を兼ねて鳥獣保護関連の活動を行って頂き感謝致します。

5. その他の施策について

(1) 野鳥展実行委員会

写真部休部のあと、野村芳宏氏が野鳥展実行委員会を組織されて、毎年野鳥展具体案を運営委員会に提案され検討、実施されてきました。ご存知の様に充実した野鳥展になっていること評価されます。

(2) 鷹研プラス

梶原剛二支部長提案の室内例会の鷹研は人気も高く、新年は正式に「鷹研プラス」に名称変更しスタート致しますので、多くの会員の発表の場と室内研修の場として活用願います。

(3) 識別検討委員会

別添の有働孝士部長の提案を参照願います。

(4) ご意見相談室

別添の有働孝士部長の提案を参照願います。

(5) 無人録音調査

2017年5月に開始され、5年目を向かえる無人録音調査です。これまで驚異的な成果を挙げていることから継続調査を実施します。

編集部 2020 年度総会資料

有働孝士

2019 年度総括

本会会報「野鳥だより・筑豊」は、別表のように12ヵ月12号が月刊で、また別冊500号が発行されました。平均ページ数は53ページ、同じく記事数は28タイトル、執筆者数は19名でした(いずれも別冊500号を除く)。

本会事業の開催予告、探鳥会・自然観察会、事務局報告等は途切れることなく適切に掲載され、会員ご投稿による連載記事は順調でした。

「野鳥だより・筑豊」2019年度実績

月号	通巻	総頁	発行日	記事数	執筆者
1	491	60	12月27日	25	16
2	492	44	1月24日	24	17
3	493	42	2月21日	27	16
4	494	69	3月28日	29	19
5	495	56	4月25日	28	19
6	496	60	5月23日	33	18
7	497	58	6月27日	32	18
8	498	56	7月25日	25	17
9	499	34	8月22日	19	14
10	500	60	9月26日	30	19
別冊	-	98	9月26日	48	40
11	501	44	10月24日	26	16
12	502	56	11月21日	24	16
平均	-	53	-	28	19

2019年度編集部総括について、前編集部部長・三宅敏靖氏に代わり、仮編集担当・有働孝士が記しています。項目【執筆者】に探鳥会・自然観察会等の行事感想投稿者数は含まれていません。

以上、功績・実績は前編集部部長・三宅敏靖氏に、内容の誤り・過不足その他の不都合は筆者に帰するものです。

2020年度方針

前編集部部長・三宅敏靖氏は、2019年12月号編集をもって退任され、あとを情報部・有働孝士が引き継ぎ、仮編集担当となりました。

もし総会のご承認をいただければ、2020年4月号(3月編集)からは編集部へ編入、会報編集を担当させていただくこととなります。編集担当に就任させていただく場合は「野鳥だより・筑豊」2020年1月号59ページ「編集担当からお願い」に記しましたように、僭越ながら新年度においても次の4点(要約)を希望いたします。

- ①編集上の権限を全委任していただくこと。
- ②投稿者および掲載記事について、コンプライアンス(法令遵守)を求めること。
- ③運営情報について各専門部・グループの会報原稿担当により締切日までに編集担当にお渡しいただくこと。
- ④締切日経過後の原稿・情報は、きっちり次号回しとなること。

以上のような特殊事情ではありますが、2020年度方針(2020年4月～2021年3月)について述べさせていただきます。

1. 会報は会員の情報基盤との認識のもと、月刊発行を継続します。
2. 会報の内容について、読者およびご意見相談室に批評を求め、誌面に反映します。
3. 単発の会員投稿による記事が少ないことを今後の課題として、さらに分野を広げます。
4. 公式ウェブサイト「くまたか」<http://yacho.org/>と相互に連携を深め、会報の内

容を豊かにします。

5. 会報の印刷郵送版からメール版への移行を推進します。

編集担当交代により、1月号より三宅氏編集から有働編集に代わりました。その結果、この10年間続いてきた誌面が大幅に変化し、読者に戸惑いの声が聞かれます。三宅氏執筆のコラム、連載記事の一部*が中断となりました。愛読してこられた読者のみなさまには申し訳ないことですが、これまでもそうであったように、新編集担当により大幅に刷新されるのはやむを得ない面があると思います。編集担当による会報への期待や役割の認識等がそれぞれに異なるため、大幅の刷新につながります。とはいえ、会報のバックボーンである行事の予告や報告、会員による投稿、事務局の報告等様式は変化しても会報の基本骨格は変化しません。

これまでの伝統を受け継ぎつつささやかながら会報に新風を吹き込み、次の十年紀がスタートいたします。新しいご提案や日々の随想などとともに、多くのご投稿を締め切り無しでいつでもお待ちしております。

今後とも会員のみなさまのご支援・ご協力をお願いいたします。

*巻頭連載の「筑豊の野鳥」は、「くまたか/会員専用/出版物/筑豊の野鳥 観察ガイドブック」に収容されています (<http://yacho.org/a/728>)。ダウンロードや閲覧には、アカウントが必要です。「[会員専用]メニュー利用のすすめ」<http://yacho.org/a/717> によりお申し込みください。

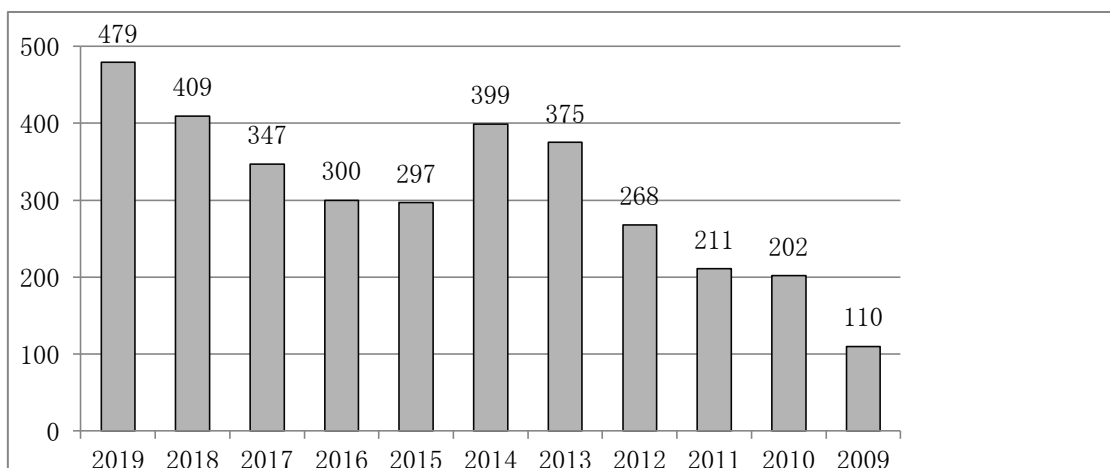
情報部 2020 年度総会資料

有働孝士

2019 年度総括 (2019年1月～12月)

情報部は本会公式ホームページ (以下ウェブサイト) 「くまたか」<http://yacho.org/> の維持管理を主な活動内容にしています。

「くまたか/What's New/」新着件数の推移



「くまたか」では、ページの新設やアップロード等変更があるたび、What's New というコラムに要約を記し、ユーザーにお知らせしています。「くまたか」はこのコラムを見ればおおむね変化や動向をつかむことができます。

会員による新しいご投稿の件数は、「くまたか」の活性度を示す指標とみることができ、「新着」タグをつけて公開しています。上図「くまたか/What's New/」新着件数の推

移」は、この新着の件数を棒グラフで集約したものです。2009年「くまたか」開始以来、2015年一時的落ち込みはあったものの年々伸び続け、2019年度は479件を数えるまでになりました。「くまたか」の利用が盛んになってきたことの証とも言えるでしょう。一方、ユーザーのアクセス数を示すアクセスカウンタは、直近ではほぼ毎日80+～100+あって、一時の140±には及びませんが、堅調に推移しています。

サーバーの現況 (2020-01-30)

「くまたか」は、インターネット接続およびアップロード・データを収容するためXserver (エックスサーバー) というレンタルサーバー、ドメイン (yacho.org) 登録はVALUE DOMAIN (ヴァリュー・ドメイン) の二社をそれぞれ利用しています。

Xserver <https://www.xserver.ne.jp/>

ディスク使用量/空き容量(利用プラン:X10,最大200GB):104.3694GB/95.6306GB
総ファイル数:226,349

VALUE DOMAIN <https://www.value-domain.com/>

契約期限:2020-06-09

移管:1,380円(税込1,518円)

※ドメインは、世界のインターネットにおける住所に相当する文字列で、「くまたか」のドメインは、yacho.orgです。短いですが、世界中でyacho.orgといえば唯一「くまたか」を指しています。

ハンドアウトについて

野外行事では、「ハンドアウト」<http://yacho.org/a/468> (くまたか/本会/様式書類/例会資料ハンドアウト) を配布していますが、必ず最新版を「くまたか」よりダウンロードしてご使用ください。

担当によるハンドアウト配布は省略できない責務です。作成が困難な場合は、余裕をもって事務局にお申し出ください。作成のお手伝いをいたします。

様式右列「お願い」3項目は必ず読み上げて周知してください。

※特に第2項の「持ち帰り不可」、お持ち帰りが出来るのは「思い出とゴミみだけ」が守られないことがあり、役員においてさえ現地物の持ち帰りや現状変更(明らかな危険がないか予想されない限り事前を含み変更はできません。必要な場合はあらかじめご意見相談室へ提起)を散見します。第2項はぜひしっかりと読み込んで意味を了解いただき、せめて役員は守りたいものです。誤解のないよう申し添えると、探鳥会・観察会の場における「持ち帰り不可」は、その他の個人的な活動まで制約するものではありません。(他の専門部案件とも思われますが、僭越ながらハンドアウト作成の情報部より提起)

2020年度方針(2020年4月～2021年3月)

1. 「くまたか」開設以来の目的である、各種記録情報の「収集・保存・共有」は今後も続行していきます。
2. 個人情報および珍鳥情報に関する公開制御は、ご意見相談室に諮り慎重に対処します。
3. 現在VALUE DOMAINにあるドメイン登録(ウェブサイトの戸籍登録)は、契約が切れる6月をめどとしてXserverに移管し一本化したいと思います(サイト常時SSL化への展望)。
4. 本会の代表メールアドレスをinfo@yacho.orgとしたいので提案いたします。info@yacho.orgに着信したメールは、情報部・有働孝士の管理アドレスに届きますが、宛先および内容により、適宜迅速に転送いたします。外部への総合的な連絡先としてのご活用を提案いたします。(info@yacho.orgはyachoc@gmail.comのエイリアス)
5. TV会議システムの活用と展望について、「運営委員会打ち合わせ」だけでなく、遠隔地の会員とのコミュニケーションに使えないかと、1月「運営委員会打ち合わせ」の場で梶原支部長より提案されました。

現在利用している TV 会議は、ごく普通のブラウザ（クローム、ファイアフォックスほか）を使用し、無料・無登録・制限時間なしで利用でき、通信品質もそこそこで使えます。また、端末は、ひかり回線に接続できれば、PC だけでなくタブレットやスマホ（wifi 接続、本体付属のマイク・カメラを使用）でもじゅうぶん可能。ぜひ認知を広げ、有意義な活用を期待します。また、特に関係者は「運営委員会打ち合わせ」への積極的なご参加をお願いいたします。

識別検討委員会（規約\附則第 2 条②）

記録担当・有働孝士

識別検討委員会（以下、委員会）は、2016 年 9 月以降、利用がありません。

<http://yacho.org/a/323>

2017 年発足のご意見相談室による前処理が活発化したことも影響を与えていると思われま。しかしながら、利用者はいないものの存続の理由が消滅したわけではありません。必要な方は今後もご利用ください。

ご意見相談室（規約\附則第 2 条③）

2017 年 10 月 23 日支部長により招集構成された本会内部の作業グループです。主に「くまたか」の諸問題を討議・解決し、また識別相談や本会内の一般的な諸問題にも対応しています。新年度から会報「野鳥だより・筑豊」にも対応していただきます。

現メンバーは次の 8 名です。梶原剛二（支部長）、真鍋直嗣（副支部長）、三浦博嗣（副支部長）、広塚忠夫（事務局長）、野村芳宏（事務局次長）、森永光直（普及部部長）虎尾俊二（普及部副部長）、有働孝士（情報部部長）

http://yacho.org/cbird/pages/1_home/oshirase_arc_d1.htm#udot_17a23

2019 年 4 月号（通巻 494 号）10p

ご意見相談室 コクガン画像・情報の扱いについて決した。

- ・ポイントは「マナー違反カメラマンの集中・住民とのトラブル
- ・繁殖放棄
- ・「観察圧等」を想定し、本会取扱い基準表を基に合意した。
- ・2 月 9 日投稿者 K 氏了解で、本会サイトアップロードを 1 ヶ月保留確認。《支部サイト野鳥情報公開基準表（v-2/2017-11-23）参照》

2019 年 8 月号（通巻 498 号）8p

英彦山山頂付近のチゴモズ♀のサイト掲載の取扱いについて協議した。

2019 年 9 月号（通巻 499 号）9p

鳥遊庭（下田信廣氏）の本会サイトに掲載について（ご意見相談室案件）

2019 年 11 月号（通巻 501 号）9p

- ・三宅敏靖編集長辞任に伴い編集部の再編成と編集方針について、各委員 から知恵出しと編集協力をお願いし、三宅敏靖編集長から現行の時系列 の編集作業の流れの説明を受けて、具体的な検討に入った。

2019 年 12 月号（通巻 503 号）10p

編集部の再編成体制と方針

2020年度 本会定期総会用資料(普及部)

普及部部長：森永光直

2019年度の総括

2019年度の探鳥会開催数は42回になりました。

日帰りバスツアー2019(諫早干拓)や新規フィールドの拡大(斫石峠・林道相ノ原毛谷村線)が追加されました。参加会員数651人、一般参加数58人で合計709人でした。担当者による下見が、数多く実施されたケースもありました。

来期の課題として、担当者の高齢化や家庭の事情により、新担当者の確保が必須と成ります。

2020年度はより質の高い、探鳥会を開催したいと思います。

2020年度は下記項目を柱に掲げ、活動を策定致しました。

1. 集合時刻の一部変更(鳥の観察種類を増やす為に、通常9時を観察地により、早く設定) 前年継続
2. 参加者の増加を図る為に、日曜や祭日開催を活用致します。前年継続
3. 探鳥地は継続観察を踏まえ、原則前年と同様に致しますが、斫石峠・林道相ノ原毛谷村線も継続致します。
4. 今年度も新規探鳥地を策定して、探鳥地の拡大を図ります。
海鳥の探鳥地として、中津干潟から佐賀県東与賀に探鳥場所を変更致します。
5. 今年度は1泊2日のバス探鳥会を予定として、宍道湖を計画致しました。(但し、予算の関係で、場所の変更を考慮致します。)
6. 行事担当者の確保及び担当者のフォローを積極的に推進致します。

2019年度(2019/1/1~2019/12/31) 例会実施表

2019年	日	曜日	例会	探鳥地	集合場所・時間	会員	一般
1月	1	火	907	遠賀川中島	垣生公園駐車場	13	2
	13	日	908	志賀島	志賀島旅客待合所	24	2
	19	土	909	英彦山	JR彦山駅	18	1
	27	日	910	東大橋海岸探鳥会	行橋市役所	23	1
2月	3	日	911	頓田貯水池探鳥会	頓田の公園駐車場	15	1
	10	日	912	犬鳴ダム探鳥会	犬鳴ダム泉の広場駐車場	17	3
	14	木	913	柏の森探鳥会	飯塚アイスパレス駐車場	22	0
	18	月	914	瀬板の森	瀬板の森公園 南口駐車場	20	5
	24	日	915	久保白ダム	王塚装飾古墳館駐車場	29	0
3月	3	日	916	千石峡探鳥会	千石峡駐車場	9	2
	10	日	917	英彦山	JR彦山駅	4	0
	17	日	918	藍島探鳥会	藍島港旅客船ターミナル	20	3
	22	金	919	遠賀川水辺館	遠賀川水辺館	11	0
	31	日	920	求菩提山	豊前市求菩提山登山口駐車場	13	0
4月	1	月	921	久末ダム	久末ダム駐車場	17	0
	7	日	922	部埼灯台(ヒヨドリ渡り)	部埼灯台駐車場	19	3

	14	日	923	英彦山	JR彦山駅	13	4	
	21	日	924	三毛門海岸	JR三毛門駅	10	0	
	24	水	925	英彦山(砺石峠)	JR彦山駅	5	0	
	26	金	926	油山市民の森	福岡市城南区油山市民の森	15	3	
5月	4	土	927	中津東浜	①中津城広場②ひがたらぼ	14	0	
	6	月	928	遠賀川 中島	垣生公園駐車場	4	1	
	12	日	929	笠城ダム公園	笠城ダム公園正面	20	8	
	16	木	930	英彦山(鬼杉)	JR彦山駅	7	0	
	18	土	931A	英彦山(ヨルヒコ)	豊前坊駐車場	0	0	
	19	日	931B	英彦山(アサヒコ)	豊前坊駐車場	13	4	
6月	2	日	932	英彦山	JR彦山駅	9	1	
	9	日	933	大法山	山田梅林公園駐車場	23	1	
	13	木	934	英彦山	JR彦山駅	8	0	
	16	日	935	古処山林道	古処山林道終点駐車場	16	0	
7月	7	日	936	築上町寒田	平成筑豊鉄道犀川駅	18	1	
	14	日	937	犬鳴川	若宮コミュニティセンター	14	3	
8月	25	日	938	英彦山(清掃探鳥会)	JR彦山駅	15	0	
9月	1	日	939	英彦山	豊前坊駐車場	6	0	
	13	金	940	中津干潟	①中津城広場②ひがたらぼ	15	0	
	22	日	941	ハチクマ探鳥会	剣岳	0	0	
	22	日	941	ハチクマ探鳥会	六ヶ岳	0	0	
	22	日	941	ハチクマ探鳥会	明神ヶ辻山	0	0	
	23	月		ハチクマ観察会	六ヶ岳	3	0	
	23	月		ハチクマ観察会	明神ヶ辻山	2	0	
10月	13	日	942	ヒヨドリ渡り探鳥会	福智町市場 彦山川河川敷	17	0	
	20	日	943	英彦山(深倉峽)	JR彦山駅	14	3	
	28	月	944	三郡山	福岡県総合射撃場手前広場	13	0	
11月	10	日	945	豊前海岸	浜の宮駐車場	26	4	
	17	日	946	英彦山(毛谷村林道)	JR彦山駅	19	1	
	23	土	947	日帰り(バスツアー)	諫早干拓	31	0	
12月	8	日	948	大ヶ原	川崎町ラピュタファーム駐車場	19	1	
	22	日	949	英彦山(落合小学校往復)	JR彦山駅	8	0	
						合計(会員及び一般)	651	58
						総合計	709	

2020年度(2020/4/1~2021/3/31)例会実施表(最終案)

2020年	日	曜日	例会	探鳥地	集合場所・時間	担当者(暫定)
4月	1	水	961	久末ダム	久末ダム駐車場	9:00 阿部哲也
	5	日	962	部埼灯台(ヒヨドリ渡り)	部埼灯台駐車場	9:00 梶原剛二
	11~12(土日)			九州ブロック大会	福岡市海の中道青少年海の家	未定 事務局

	12	日	963	英彦山	JR彦山駅	9:00	河野藤孝
	19	日	964	三毛門海岸	JR三毛門駅	9:00	下田信廣
	22	水	965	英彦山(斫石峠)	JR彦山駅	5:30	虎尾俊二
	26	日	966	油山市民の森	福岡市城南区油山市民の森	9:30	森永光直
5月	1	金	967	東与賀(佐賀市)	干潟よか公園駐車場	10:00	古城英彦
	4	月	968	中間市・遠賀川中島	垣生公園駐車場	9:00	梶原剛二
	10	日	969	笠城ダム公園	笠城ダム公園正面	9:00	虎尾俊二
	16	土	970	英彦山(鬼杉)	JR彦山駅	5:30	森永光直
	23・24	土・日	971	英彦山(ヨルヒコ、アサヒコ)	詳細未定		普及部
6月	7	日	972	英彦山	JR彦山駅	9:00	野村芳宏
	14	日	973	オオヨシキリ(生息地)	場所未定		普及部
	21	日	974	英彦山	JR彦山駅	5:30	虎尾俊二
	28	日	975	古処山林道	古処山遊人の杜下駐車場	8:00	虎尾俊二
7月	5	日	976	築上町寒田	平成筑豊鉄道犀川駅	9:00	中嶋睦夫 森永光直
	12	日	977	犬鳴川	若宮コミュニティセンター	8:00	阿部哲也
8月	2	日	978	英彦山(林道 相ノ原毛谷村線)	豊前坊駐車場	7:30	虎尾俊二
	23	日	979	英彦山(清掃探鳥会)	JR彦山駅	9:00	森永光直
9月	11	金	980	東与賀(佐賀市)	干潟よか公園駐車場	9:00	古城英彦
	20	日	981A	ハチクマ探鳥会	剣岳	9:00	国武光成
	20	日	981B	ハチクマ探鳥会	六ヶ岳	9:00	虎尾俊二
	20	日	981C	ハチクマ探鳥会	明神ヶ辻山	9:00	梶原剛二
	21	月	982A	ハチクマ探鳥会	剣岳	9:00	国武光成
	21	月	982B	ハチクマ探鳥会	六ヶ岳	9:00	虎尾俊二
	21	月	982C	ハチクマ探鳥会	明神ヶ辻山	9:00	梶原剛二
10月	11	日	983	ヒヨドリ渡り探鳥会	福智町彦山川	9:00	国武光成
	18	日	984	英彦山	JR彦山駅	9:00	有本英一郎
	26	月	985	三郡山	福岡県総合射撃場手前広場	8:00	虎尾俊二
11月	8	日	986	豊前海岸	浜の宮駐車場	8:30	大木謙之介
	15	日	987	英彦山	豊前坊駐車場	7:30	宮本秀美
	21・22	土・日	988	宍道湖(予算の都合で変更あり)	1泊2日の旅行		普及部
12月	6	日	989	大ヶ原	川崎町ラピュタファーム駐車場	8:00	竹田澄子 森永光直
	13	日		忘年会	飯塚市支部事務所	12:00	事務局
	20	日	990	英彦山	JR彦山駅	9:00	林田達也
1月	1	金	991	久保白ダム	飯塚市側本堤西	9:00	有働孝士
	10	日	992	英彦山	JR彦山駅	9:00	柴田 光
	17	日	993	志賀島	志賀島渡船場駐車場	9:00	森永光直
	24	日	994	東大橋(北九州支部と調整必要)	行橋浄化センター前	9:00	田代省二

2月	1	月	995	英彦山	JR彦山駅	9:00	虎尾俊二
	7	日	996	犬鳴ダム	泉の広場駐車場	8:00	阿部哲也
	14	日	997	久保白ダム	桂川町王塚装飾古墳館	9:00	梶原剛二 松尾浩二
				総会	桂川町王塚装飾古墳館	13:00	支部長
22	月	998	瀬板の森	八幡西区瀬板の森公園南口駐車場	9:00	森永光直	
3月	14	日	999	藍島(北九州支部と調整必要)	藍藍島港旅客船ターミナル(小倉港 8:20 発)	9:40	林 孝
	21	日	1000	英彦山	JR彦山駅	9:00	林田達也

2020年：自然観察会 v-2

植物部・三浦博嗣

月	日	曜日	観察場所	集合場所	集合時刻	担当者	17/参	18/参	19/参	例会観察テーマ
4	9	木	108 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	三浦美代子		21	20	オキナグサ・ホタルカズラ・センボンヤリ
	16	木	109 回香春岳	香春町役場	9:00	広塚忠夫	14	16	18	スマレ各種・バラ科・フデリンドウ他
5	14	木	110 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:30	三浦博嗣	12	16	17	キンラン・ギンラン等ラン科
	22	金	111 回天生田	平成筑豊鉄道豊津駅	9:00	古城英彦	3	5	10	コキンバイザサ・カノコソウ
6	4	木	112 回経読林道	JR彦山駅	8:30	三浦博嗣	10	11	12	オオバアサガラ・
	18	木	113 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:30	三浦博嗣	14	15	17	オカトラノオ・ノハナショウブ・スズサイコ・カキラン・
7	9	木	114 回千石峡	千石峡駐車場	7:30	広塚忠夫	5	13	12	キキョウ・カワラナデシコ
	16	木	115 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	7:30	三浦博嗣	14	14	10	ヒオウギ・アキノタムラソウ
8	6	木	116 回古処山	遊人の杜駐車場	8:00	三浦博嗣	10	13	11	オオキツネノカミソリ・ベニシユスラン
	28	金	117 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	7:30	岩本君子	18	13	12	オトギリソウ各種・ハギ各種
9	17	木	118 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	* 8:00	三浦美代子	13	16	16	野菊各種・ハギ各種
10	23	金	119 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	8:30	三浦博嗣	14	20	17	リンドウ、アザミ各種・ウメバチソウ
11	5	木	120 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	三浦博嗣	13	15	13	リンドウ、アザミ各種・ウメバチソウ
	12	木	121 回経読林道	JR彦山駅	9:00	真鍋直嗣		15	15	メグスリノキ・モミジ各種
2	3	木	122 回オルレ香春	香春町役場	9:00	広塚忠夫	8	8	17	早春の花々
3	26	金	123 回平尾台	平尾台自然観察センター駐車場	9:00	三浦美代子	9			オキナグサ・ホタルカズラ他
合計							157	211	217	

(2020年度の取組み)

- 1 各月の担当者は数名の継続以外、観察会当初に戻り、部長・副部長で担当する。
- 2 平尾台での観察会で各月で期間が長く空くときは、下見観察会と合わせて中間に
いれることで定例日参加できない方の参加及び観察レベルアップに繋げる。
下見予定 (4/24、5/29、7/2、8/20、9/3、10/8) は事前にサイト・野鳥だよりに掲載
- 3 今後のリーダー育成に向け、サブリーダー制を設ける(各観察会ごとに1名)。

- 4 9月の観察会集合時間を8:30から8:00に変更。
（自然観察会は「季節の植物を観察し、楽しみながら自然と触れ合おう」と
「健康のため歩きましょう」）

《研究部》

柴田 光

2019年度研究部活動報告

□ガンカモ一斉調査の継続

◇調査日…2020/01/09(木)～1/30(木)

◇調査地点…久保白ダム 634・鴨生田池 169・力丸ダム 2・油木ダム 14・彦山川 81

合計 13 種 900 羽を確認。マガモ 730・ホシハジロ 75・カルガモ 73 の順に数が多かった。
観測日の気象条件の変化などの影響か、力丸ダム、油木ダムはここ数年羽数が激減してい
るようだ。

□ハチクマ渡り調査の継続

◇秋の渡り調査 2019年9月11日から29日 合計1,338羽

定点の六ヶ岳、剣岳、水巻に加え各地で観察されたものです。

◇2019年度の秋季合計は1338羽でした。前年度は1766羽をカウントしています。この
数字を見ますと前年度と比較して著しく数が激減しています。

台風や気象状況の変化による影響は大きいと思いますが、他の観測地区と照らし合わせて
考察していく必要があるようです。

□英彦山ソウシチョウ調査の継続

□バードリサーチ データベース化 継続

□八木山小学校（飯塚市）探鳥指導 野村芳宏、木村直喜、三浦博嗣、柴田光

□竜岩自然の家で5月～2月、毎月第4日曜日に観察会(木村直喜)

□観察サイトへの調査協力 □県の委託調査…真鍋直嗣さんにとりまとめをお願い

□鳥獣保護員パトロール 筒井哲史、木村直喜

調査研究部

虎尾俊二

2020年度活動案

1. ハチクマ渡り調査

9月に六ヶ岳、剣岳、明神ヶ辻、その他で秋のハチクマ渡り調査を行う

2. オオヨシキリの生息調査

遠賀川水系でオオヨシキリの生息調査を行う

(北部河川補助金対象調査で補助金対象の場合のみ)

3. ガンカモ一斉調査

1月初旬に久保白ダム・鴨生田ダム・力丸ダム・油木ダム・彦山川で行う

4. 県委託調査

真鍋直嗣氏を中心に、多くの会員に調査協力を呼び掛けて行う。

2020年保護部総会資料

保護部 筒井哲史、木村直喜

2019年度活動報告

保護部は、筑豊地区の野生鳥獣の見回りを鳥獣保護管理員の巡視とともに実施しています。2019年では巡視等で違反などは見つかることはありませんでした。野鳥の繁殖に影響を与えるような写真の撮影等は見つけられませんでした。また、福岡県のシカ指定管理捕獲事業で鳥獣保護区内にもワナが設置されているので登山者や観光客に危険がないか見回りました。

1. 野鳥の密猟の見回りを実施しました。
2. 野鳥の繁殖に影響を与える行為が行われていないか見回りを実施しました。
3. 違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを実施しました。
4. 県のシカ指定管理捕獲事業で鳥獣保護区内に仕掛けてあるシカのワナが適切に設置されているか確認しました。

2020年活動方針案

2020年の活動方針については、2019年と同様の活動を行っていきたいと思います。野鳥の繁殖に影響を与えるような写真の撮影や撮影に伴う環境の改変などの行為がないように注意していきたいと思います。メジロの飼養許可違反、その他の鳥類の飼養がないように見回ります。

1. 野鳥の繁殖に影響を与える行為をやめるように注意を行います。
2. メジロの愛玩飼養目的の捕獲が原則禁止となりました。この規則について広く啓蒙されるように普及に努めます。
3. 違法野鳥の飼養が行われていないか鳥獣店やペットショップの見回りを行います。
4. 福岡県が耶馬日田英彦山国定公園内でシカ指定管理捕獲を実施しています。鳥獣保護区内でもワナを仕掛けてシカを捕獲していることからワナが適切に設置されているかどうかを確認します。

野鳥展実行委員会 2019年の取り組みと 2020年の活動計画案

野鳥展実行委員長 野村芳宏
2020. 2. 16 (日)

1. 2019年の取り組み

(1) 会の発足と経年

- ・発足 2014年2月に野鳥の会筑豊支部の総会で承認
- ・2019年で経年5年

(2) 実行委員

- ・4名 飯塚地区 野村芳宏 (実行委員長) 田川地区 落合東太
京築地区 大木謙之介 直鞍地区 阿部哲也

(3) 野鳥展

- ①期 日 2019年8月17日(土)～31日(土)

②場 所 福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち 一階 企画展示室

田川郡福智町赤池 970-2 Tel0947-28-2855

③開 催 日本野鳥の会筑豊支部主催

④テーマ 「里山の野鳥たち」

⑤展示内容 写真 31 点（特別展示 1 点を含む） 俳句 18 句

⑥記帳者数 279 名 （自動カウンターによる入場者数 2,820 名）

⑦ 広 報 福智町町報 西日本新聞 読売新聞 毎日新聞 NHK テレビ 他

⑧ 会場費 13,000 円

⑨関連イベント

・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施
（野鳥展の展示作品をアップ）

・早朝バードウォッチング

8 月 18 日（日）7:00～8:50 福智町図書館から貴船神社 参加者 19 名

※総括については 2019 年 10 月号「野鳥だより」に記載

2. 2020 年の活動方針

(1) 実行委員の交代

田川地区 落合東太（旧） → 木村直喜（新規） 総会で承認を得たい

(2) 野鳥展

①開催地区 京築地区

②会場（予定） みやこ町中央図書館 ギャラリー

③期日（予定） 7 月 30 日（木）～8 月 12 日（水）

④写真展のテーマ 「筑豊の野鳥四季模様」

⑤展示内容 写真 30 点前後（A3 サイズ展示可能） 俳句数点

⑥展示品の応募 6 月中旬

⑦会場費 無料

⑧関連イベント

・筑豊支部のホームページ「くまたか」に仮想写真展を実施
（野鳥展の展示作品をアップ）

・野鳥展探鳥会 8 月 2 日（日）8:30～10:00 会場周辺

担当野村芳宏

⑨主催 日本野鳥の会筑豊支部

野鳥展実行委員会規約

1. 目的

毎年各地域で開催する野鳥展を成功させることを目的とする。

2. 組織

実行委員 4 名で構成する。そのうち 1 名を実行委員長とする。

3. 選出

直鞍・飯塚・田川・京築の各地域から実行委員を 1 名選出し、互選で実行委員長を決める。

4. 任期

実行委員及び実行委員長は 2 年とする。再任は妨げない。

5. 役割

実行委員長は、野鳥展の企画、実施の役割を担う。実行委員は、実行委員長の補佐を担う。

6. 開催期間

原則として年に1回、8月に行う。

7. 開催地域

2014年 飯塚地区

2015年 田川地区

2016年 京築地区

2017年 直鞍地区

2018年以降は、この順番で行う。

8. 発足

2014年1月の総会で承認を得て、発足する。

9. 改正及び破棄

上記の規約を改正及び破棄する場合は、野鳥の会の総会の承認を得る。

鷹研プラス

梶原剛二

2019年度実施報告

4月、(第13回台湾探鳥会ミニ発表4月13日)	15名
5月、(第14回見島探鳥会ミニ発表5月11日)	13名
6月、(第15回春の猛禽類見島・サンコウチョウ6月8日) 名称、鷹研プラス	13名
7月、(第16回「目で見ると」野鳥声の講座7月13日)	19名
8月、(第17回ワシタカ・ハヤブサ類の識別講座8月10日)	25名
9月、(第18回夏鳥報告・いよいよハチクマ9月14日)	18名
10月、(第19回ハチクマ・サシバ報告10月12日)	16名
11月、(第20回ハイタカ・冬鳥報告11月9日)	10名
12月、(第21回バスツアー・冬の猛禽報告12月14日)	18名
1月、(第22回ギャラリーで見る冬鳥1月11日)	17名
2月、(第23回冬鳥2月8日)	19名
3月、(第24回東よか干潟の予習3月14日) 中止	名

講師による台湾、見島の探鳥会報告や野鳥の鳴き声講座、識別講座等をおこないました。会の名前も「鷹研」から「鷹研プラス」に変更され、内容も試行錯誤の状態でしたが鷹委員会として協議される場となりました。河川敷清掃も始めました。会議に飲み物、茶菓子など差し入れしていただくなどお心遣いいただきました。また、室内例会ならでの図鑑等のコーティングをして頂きありがとうございました

2020年今年度実施 (案)

室内例会だから可能な勉強やイベントを楽しくする、より良い鷹研プラスを行っていきたいと思います。議論の中から識別能力を上げていくことや、講師らの識別の勉強会もおこなっていきます。鷹委員会のメンバー「森永光直・佐藤久恵・阿部哲也・三浦博嗣・梶原剛二」で話し合い、事務局、研究部と調整して筑豊支部会員と相談しながら進めて行きます。

会計部

2019年度予算対比実績

2020年1月16日 会計 河野藤孝

収入の部 (2019年1月～12月まで)

項目	予算(円)	実績(円)	達成率(%)
会費収入	450,000	504,500	112
探鳥・植物参加費収入	80,000	90,000	113
委託調査収入	170,000	167,287	98
販売部収入	70,000	58,323	83
クマタカ入会金	10,000	15,000	150
寄付金収入	5,000	57,256	1145
雑収入(郵便局利息他)	0	6	—
当期収入合計(A)	785,000	892,372	114

支出の部 (2019年1月～12月まで)

項目	予算(円)	実績(円)	達成率(%)
家賃	317,000	316,302	100
通信費	20,000	10,762	54
事務局経費	23,000	32,284	140
備品費	26,000	0	—
活動費	70,000	55,081	79
行事費	10,000	23,977	240
野鳥だより・筑豊発行費	325,000	336,874	104
情報部	10,000	35,528	355
予備費	20,000	281,180	1406
当期支出合計(C)	821,000	1,091,988	133
当期収支合計(A) - (C)	-36,000	-199,616	

★2019年度特別会計増減報告

項目	金額(円)
前期繰越	1,250,000
当期繰入	0
当期引出	0
当期合計	1,250,000

【特記事項】

2019年度は皆様の努力、協力で非常に実りある年度となりました

*探鳥会や自然観察会を事前に調査して、その結果をブログに記載した

これで参加者が大幅に増えて正会員増に繋がった

(前年度比 ・会費+13%, 参加費+8%, クマタカ入会金+15%)

*無駄は極力排除した(電話機の撤去, コピー機の不定期点検整備化)

*会報創刊500号 記念号の発行 (280,800円)

*サーバーの更新(3年契約)

*バスツアー参加者、忘年会参加者より寄付金を頂く

2019年度決算報告及び2020年度予算案

会計部 河野藤孝

★2019年度決算報告

☆2019年度一般会計収支計算書

収入の部 (2019年1月～12月まで)

項目	金額(円)
会費収入	504,500
探鳥・植物参加費収入	90,000
委託調査収入	167,287
販売部収入	58,323
クマタカ入会金	15,000
寄付金収入	57,256
雑収入(郵便局利息他)	6
当期収入合計(A)	892,372
前期繰越額	715,228
収入合計(B)	1,607,600

支出の部

項目	金額(円)
事務所経費(家賃)	316,302
通信費	10,762
事務局経費	32,284
備品費	0
活動費	55,081
行事費	23,977
野鳥だより・筑豊発行費	336,874
情報部	35,528
予備費	281,180
当期支出合計(C)	1,091,988
当期収支合計(A)-(C)	-199,616
次期繰越額(B)-(C)	515,612

★2019年度特別会計増減報告

項目	金額(円)
前期繰越	1,250,000

★2020年度予算案

☆2020年度一般会計収支予算書

収入の部 (2020年1月～12月まで)

項目	金額(円)
会費収入	505,000
探鳥・植物参加費収入	90,000
委託調査収入	170,000
販売部収入	60,000
クマタカ入会金	10,000
寄付金収入	5,000
雑収入	0
当期収入合計(A)	840,000
前期繰越額	515,612
収入合計(B)	1,355,612

支出の部

項目	金額(円)
事務所経費(家賃)	317,000
通信費	3,000
事務局経費	40,000
備品費	26,000
活動費	55,000
行事費	20,000
野鳥だより・筑豊発行費	350,000
情報部	10,000
予備費	50,000
当期支出合計(C)	871,000
当期収支合計(A)-(C)	-31,000
次期繰越額(B)-(C)	484,612

★2020年度特別会計増減予算案

項目	金額(円)
前期繰越	1,250,000

当期繰入	0	当期繰入	0
当期引出	0	当期引出	0
当期合計	1,250,000	当期合計	1,250,000

2019年度決算報告及び特別会計増減報告は適正に
処理されていることを認めます。

2020年1月20日 会計監査 : 宮本秀美 後藤ようこ

2019年度の販売部報告

松隈英子

1、販売収支（単位：円）

(1)販売額	302,369
(2)仕入額	244,046
(3)利益額	58,323

2、カレンダー販売数

- (1)2020年度、ワイドボード・カレンダー、147。
- (2)2020年度、卓上、バーズインカレンダー、5

2019年度の、感想は、高額商品の取り扱いが、少なかったので利益がのびませんでした。

皆さんには、販売部を通して買い物をされている事に感謝致しております。

有り難うございます。2020年度も、よろしくお願い致します。

日本野鳥の会筑豊支部規約

第1章 総則

第1条（名称） この会は日本野鳥の会筑豊支部（以下、本会）と称する。

第2条（事務所） 本会は、事務所を福岡県飯塚市柏の森162-3に置く。

第3条（目的） 本会は、自然にあるがままの野鳥および植物に接して楽しむ機会を設け、また野鳥および植物に関する科学的な知識およびその適正な保護思想を普及すると共に自然環境を保全し、地域の人々の間に自然尊重の精神を培い、もって人間性豊かな社会の発展に資することを目的とする。

第4条（事業） 本会はその目的のために次の事業を行う。

- ① 野鳥および植物を中心とした自然保護活動
- ② 探鳥会、植物観察会の開催など普及教育活動
- ③ 野鳥および植物等の調査研究活動
- ④ 会報の発行および公式サイト「くまたか」の管理・運営
- ⑤ 会員相互の親睦に関する諸活動
- ⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

第5条（構成員） 本会の会員は、第3条の目的に賛同する公益財団法人日本野鳥の会会員及びくまたか会員（お試し会員）によって構成する。

ただし、くまたか会員においては、同居の家族に限り、申し込みにより会費無料でくまたか会員となることができる。

くまたか会員の会員期間は、最初の申し込みの日から月末まで及び翌月から1年間とする。

くまたか会員は、資格失効後、くまたか会員として再入会することはできない。

第6条（権利と義務） すべての会員は、同等の権利および義務を有する。

第7条（会費） 会費は別途これを定める。

- ① 会員は会費1年分を前納しなければならない。
- ② 会員資格を失った時、既に納めた会費は返戻しない。

第8条（除籍） 会員が以下各号に該当する時は、役員会の議決を経て退会または除名とする事ができる。

- ① 会費の滞納が3ヶ月以上に及んだ時
- ② 本会の名誉を著しく傷つけ、又は本会の目的に反する行為のある時

第3章 役員

第9条（役員） 本会には次の役員を置く。

- ① 支部長1名
- ② 副支部長2名
- ③ 事務局長1名
- ④ 事務局次長2名
- ⑤ 会計1名
- ⑥ 監査2名
- ⑦ 各専門部部長各1名及び副部長数名

第10条（役員の選任） 役員は総会において、本会会員の中から選任する。

第11条（職務）

- ① 支部長は本会を代表し、諸事業を統括する。
- ② 副支部長は支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ③ 事務局長は事務・事業を掌握し本会の運営実務を行う。
- ④ 事務局次長は事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
- ⑤ 会計は本会の会計実務を行う。
- ⑥ 監査は年1回、会計の監査を行う。

第12条（専門部） 本会は次の専門部を設け、各部長が業務分担し、事務局長がこれを掌握する。

- ① 普及部：定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
- ② 編集部：会報の編集と発行を行う。

- ③ 販売部：野鳥の会の物品販売を行う。
- ④ 調査研究部：各種調査活動を実施する。
- ⑤ 保護部：他の自然保護団体と連携し保護活動を進める。
- ⑥ 写真部：野鳥の写真記録を主活動とし、写真展や写真記録の蓄積を行う。
- ⑦ 植物部：自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
- ⑧ 情報部：各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。

第13条（役員の任期） 役員の任期は総会から翌年の総会までとし、再任を妨げない。

第14条（評議委員） 九州・沖縄ブロックの評議委員について、本会から選出の必要が生じたときに役員の中から1名選任推薦する。

第15条（顧問）

- ① 本会には必要に応じて顧問を置く事ができる。
- ② 顧問は本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第16条（名誉支部長）

- ① 長期期間に亘り本会に貢献された支部長を、名誉支部長として置く事ができる。
- ② 名誉支部長は、本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。

第4章 会議

第17条（総会）

- ① 総会は支部長が招集し、会員をもって構成し、毎年1回開くものとする。
- ② 臨時総会は、役員会が必要と認めた時、または5分の1以上の会員から会議の目的を示して請求があった時、開かなければならない。

第18条（総会の決議） 総会の議事は出席者の過半数で決し、可否同数の場合は議長が決するところによる。

第19条（総会の議決事項） 総会では次の事項を議決し、議事録を作成する。

- ① 規約の改正
- ② 役員および顧問の選任および解任
- ③ 事業計画、事業報告、予算、決算の審議および承認
- ④ その他本会の運営上特に必要な事項

第20条（役員会の開催） 役員会は支部長または役員の3分の1以上が必要と認めた時開催され、役員の過半数の出席をもって成立する。

第21条（役員会の議決） 役員会は、会務遂行に関する事項を議決して処理し、議事録を作成する。

第22条（運営委員会） 本会の実務運営を円滑に行うために、事務局長は運営委員会を開催する。

第5章 資産および会計

第23条（資産および運用） 本会の資産は次の通りとし、支部長が統括、会計が管理し、経費その他に運用する。

- ① 会費および寄付金
- ② 事業から生ずる収入およびその他の収入

第24条（会計年度） 会計年度は1月1日から同年12月31日までとする。

第25条（施行および改正）

- ① 規約は1986年12月15日から施行する。
- ② 1995年4月16日一部改正
- ③ 2005年4月17日一部改正
- ④ 2010年2月28日改正
- ⑤ 2011年2月27日一部改正
- ⑥ 2015年2月8日一部改正
- ⑦ 2016年2月21日一部改正
- ⑧ 2017年2月19日一部改正
- ⑨ 2020年2月16日一部改正

附則

第1条 規約7条に定める会費は次の通りとする。

- ① おおぞら会員（総合会員）：年会費7,500円

- ② 赤い鳥会員（支部型会員）：年会費 3, 500 円
- ③ 家族会員：年会費 500 円
- ④ 個人特別会員：年会費 12, 500 円
- ⑤ くまたか会員（お試し会員）：年会費 1, 000 円

第2条 規約4条の事業を行うため下記の実行委員会及び委員会、相談室等を設置する。

- ① 野鳥展実行委員会
- ② 識別検討委員会
- ③ ご意見相談室
- ④ 鷹研プラス

日本野鳥の会筑豊支部 役員体制

- 支部長……………本会を代表し、諸事業を統括する。
（ 梶原剛二 ）
- 副支部長……………支部長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
（ 真鍋直嗣 : 三浦博嗣 ）
- 事務局長……………事務・事業を掌握し本会の運営実務を行う。
（ 広塚忠夫 ）
- 事務局次長……………事務局長を補佐し、必要に応じてその職務を代行する。
（ 有働孝士 : 野村芳宏 ）
- 会計部……………本会の会計実務を行う。
（ 河野藤孝 ）
- 会計監査……………本会の監査を行う。
（ 後藤ようこ : 宮本秀美 ）
- 普及部……………定例探鳥会及び地区探鳥会を開催し、会の普及を図る。
（ 森永光直 : 国武光成 : 松尾浩二 : 虎尾俊二 : 阿部哲也
宮本秀美 : 有本英一郎 : 林田達也 ）
- 調査研究部……………各種調査活動を実施する。
（ 虎尾俊二 : 柴田 光 : 真鍋直嗣 : 木村直喜 : 田中憲二 :
小河洋綽 : 筒井哲史 : ）
- 販売部……………野鳥の会の物品販売を行う。
（ 森永光直 ）
- 保護部……………他の自然保護団体と連携し保護活動を進める。
（ 筒井哲史 : 木村直喜 ）
- 編集部……………野鳥だよりの定期発行を行う。
（ 有働孝士 : 運営委員会参加者 ）
- 植物部……………自然観察を楽しみ、植物と野鳥を研究する。
（ 三浦博嗣 : 三浦美代子 ）
- 情報部……………各種活動情報、観察データの収集・保存およびその利用促進に取り組む。
（ 有働孝士 : 木村直喜 : 筒井哲史 ）
- *名誉支部長 本会の事業について、役員会に助言を与える事ができる。
（ 松尾節朗 ）
- *写真部：2007年から休部中

2020-02-16 日総会提案に対して、02-20 運営委員会で一部修正し承認

野鳥だより・筑豊 2020 年 4 月号(通巻 506 号)別冊

発行日：2020 年 3 月 23 日（PDF・ダウンロード版）
 発行者：梶原剛二
 発行所：日本野鳥の会筑豊支部（福岡県飯塚市柏の森 162-3）
 編集：日本野鳥の会筑豊支部・編集部
 連絡先：info@yacho.org / くまたか http://yacho.org/a/102